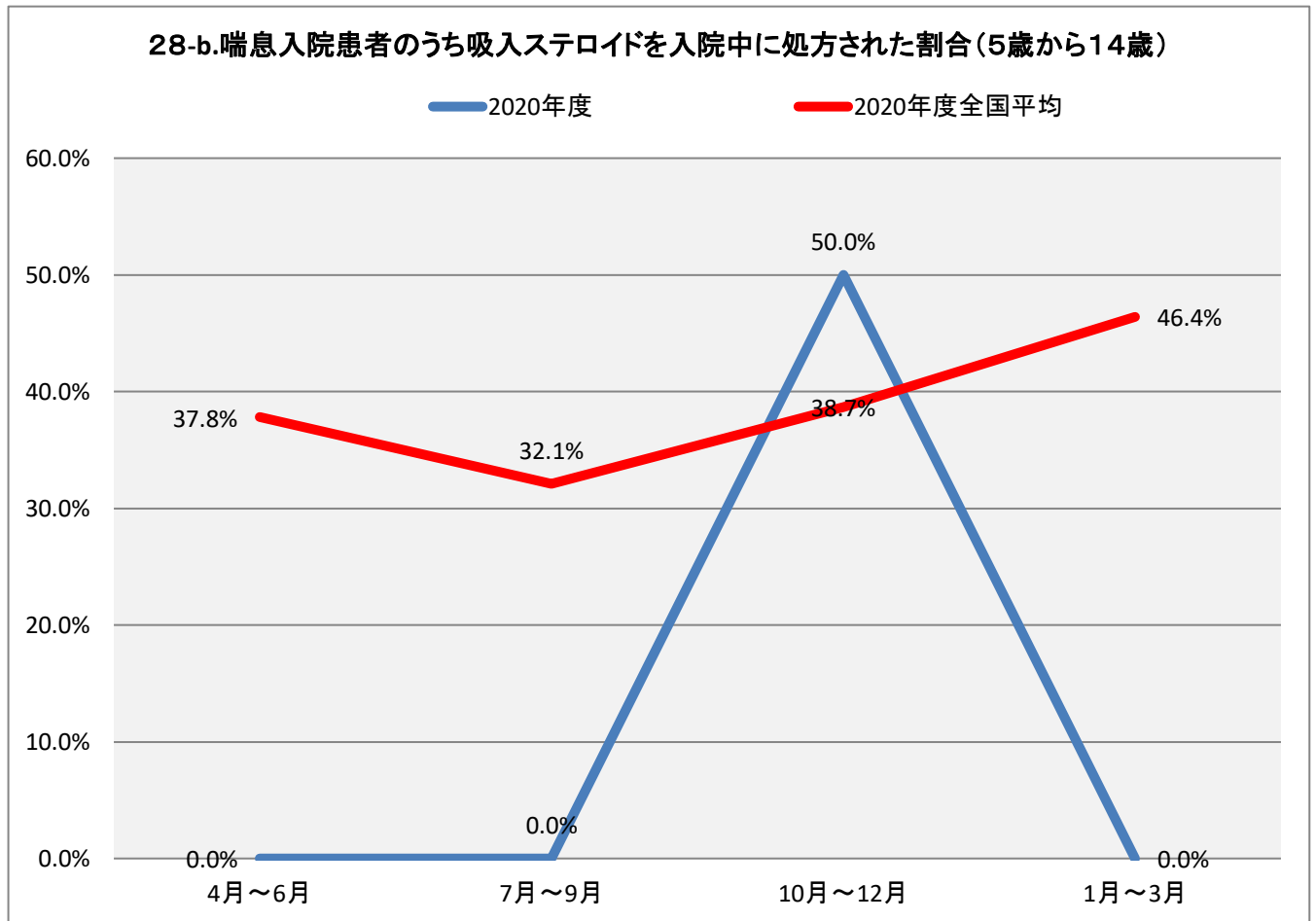


28-b.喘息入院患者のうち吸入ステロイドを入院中に処方された割合(5歳から14歳)

(1) 調査結果



| 調査期間 | 4月～6月 | 7月～9月 | 10月～12月 | 1月～3月 |
|------------|-------|-------|---------|-------|
| 2020年度 | 0.0% | 0.0% | 50.0% | 0.0% |
| 2020年度全国平均 | 37.8% | 32.1% | 38.7% | 46.4% |

喘息患者さんにおいては、吸入ステロイド薬とピークフローモニタリングによる自己管理が治療の基本となります。また、急性発作期にはステロイド薬の内服や点滴が必要です。

(2) 指標の説明 2019年度までは分母を「5歳以上の喘息患者のうち、喘息に関連した原因で入院した患者」としていましたが、2020年度は、「喘息を原因とする15歳以上の入院患者数」「喘息を原因とする5歳から14歳の入院患者数」に変更となりました。

(3) 定義
 分子: 分母のうち、入院中に吸入抗炎症剤の処方を受けた患者数
 分母: 喘息を原因とする5歳から14歳以上の入院患者数